

第8回臨書展

【中国大使館文化部賞】

主催 一般社団法人日本書字文化協会
後援 外務省、青梅市、中国大使館文化部
東京都青梅市日本中国友好協会
中国書法学院、国際芸術家連盟
NPO 法人日中文化交流促進会
中国国立南京芸術学院日本校
蘇州・寒山寺、蘇州呉昌碩研究会

大阪府 一般
榎本 蒼

臨書は日常を見直す機会

この度は中華人民共和国駐日本国大使館文化部賞という名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。

仮名作品の中でも漢字、仮名交じり文を臨書しました。粘葉本和漢朗詠集は漢詩、和歌の2つに分かれています。漢詩は凛々しく厳かに、和歌は流れるような柔らかさを出せるように墨の濃淡、筆の運びに気をつけました。

臨書は文字を通して過去の時代の方々と繋がったような気持ちになります。一文字一文字に向き合うと慌ただしい日々の生活から少し離れることができ、自分の日常を見つめ直す良い機会です。原点回帰の姿勢を改めて意識しました。

私がこのような喜びを得ることができたのはご指導してくださる植西先生、並びに教室の仲間のおかげです。臨書展に携わってくださった諸先生方、並びに関係者の皆様に心から感謝申し上げます。賞を頂いたことを励みに、今後も精進して参ります。